

平成 30 年度

かつしかセンター

事業計画

社会福祉法人原町成年寮

- 1) 利用者支援 ①276名の利用者（平成30年4月1日現在）それぞれの支援に時間を掛けられる様、必要人員の配置等体制作りを行う。
居室清掃に特に介入が必要な利用者については、今年度も引き続き清掃担当職員による週一回の清掃と、年数回のチーム単位での大掃除を行う。奥戸福祉館への委託も併用する。
余暇についてはドロップ等の活用に加え、利用者それぞれの事情やニーズに応じて、チームやユニット単位での企画も実施して行く。
②利用者数の多さや高齢化から、医療面での支援もその重要度を増している。医療機関とも連携を図り、利用者の健康管理を行う。
高齢者や持病を持つ利用者の今後の生活について、その人にとってより良い生活を続けて貰うにはどうすべきか、部分的な住居改修等も含めて検討し、取り組んで行く。
医療や介護等、職員のみでの対応が困難なケースについては、外部サービスも積極的に活用していく。
例年通り、健康診断とインフルエンザ予防接種を実施する。
③食事については、味付けや量等改善が必要な場合に適切な対処が行える様、ユニット担当職員が利用者と食事を共にする形を継続する。
④一般就労をしている利用者が働き続けられる様、必要な支援を行う。
⑤福祉就労をしている利用者について、通所先と連絡を密にし、連携を図る。
- 2) GHの整備 ①今年度中は新規開設よりも既存のGHの補習、改修を主として行っていく。
②管理宿直や男女2名体制での宿直、早出の配置等を行い、夜勤業務の負担軽減を図る。
- 3) 会議 ①かつしかセンター全体会議 月一回開催
②かつしかセンターサービス管理責任者会議 月一回開催
③チーム会議 月二回開催
④防災委員会（サザンクロスかつしかと合同） 必要に応じて
- 4) 研修 利用者支援に活かせる様、外部研修への参加を計画的に実施する。
- 5) その他 ①利用者の権利擁護・虐待防止の徹底。必要に応じて内部又は外部の研修も実施する。
②主として火災を想定した避難訓練等を、今年度も各ユニット年間2回以上実施する。
③今年度も忘年会を開催する。
④GHの空き部屋解消を目指す。
⑤今出ている障害支援区分と現状がかけ離れている利用者については、その見直しを実施していく。

<各チーム、職員構成>

統括（原町成年寮かつしかセンター所長）

かつしかセンター副所長（第2 かつしかセンター/第五 T 主任兼務）

かつしかセンター副所長（第1 かつしかセンター）

主任（第一 T）

主任（公園前 T）

主任（更紗 T）